

★チャレンジ! 夢に向かって★

* ~ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成~

校内「わたしの推し本コンテスト」の結果発表！！

夏休み中の全校共通課題として、全校児童に「わたしの推し本コンテスト」応募用紙を作成してもらいました。応募用紙は大仙市立大曲図書館に提出しましたが、それを事前にカラーコピーしたものを学校図書館前の廊下に掲示し、校内「わたしの推し本コンテスト」を9月2日（月）～12日（金）まで行いました。このコンテストは、掲示している応募用紙を全校児童と教職員が見て、読んでみたいという本を2冊選び、投票するというものです。投票は一人にシール2枚渡し、応募用紙に貼るという方法で行いました。ただし、自分の応募用紙には投票することはできません。また、人に投票するのではなく、あくまで読んでみたいという本に投票するということを伝えてコンテストを行いました。その結果をお知らせします。（一番投票が多かった本をチャンプ本、次に投票が多かった本を準チャンプ本としています。）

チャンプ本	○題名「ぼくとニケ」	著者名	片川優子				
	獲得投票数	12票	紹介者	6年	○○	○○	さん
	○題名「こころのふしぎ	なぜ?どうして?	著者名	大野	正人		
	獲得投票数	12票	紹介者	5年	○○	○○○	さん
準チャンプ本	○題名「かあちゃん取扱説明書」	著者名	いとう	みく			
	獲得投票数	8票	紹介者	6年	○○	○○	さん

国の第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（令和5年3月）には、子どもの読書への意欲を高める取組として子ども同士で本等の紹介をすることが重要であることが示されています。チャンプ本、準チャンプ本に選ばれた本は、近日中に購入し、学校図書館に置きます。子どもたちには朝読書等で読み、感じたことや考えたことなどを友達同士で交流してほしいと思います。

さて、保護者の皆様は子ども時代の読書がなぜ大切なのか、考えたことはありますか。言葉が豊かになる、知識が増える、感じる心・考える頭を育てるなど様々な理由が挙げられますが、私が読書の大切さについて考える時、次の言葉が心に浮かびます。

これは、読書の大切さについて語られた○○○○○○○○の○○○です。人として豊かに生きるために、人生を深く生きるために大切な読書のすばらしさを伝える言葉です。

本校の子どもたちには、いろいろな本の世界に触れ、想像の翼を広げたり、自分を見つめたりしながら、他人への思いを深めてほしいと思います。